

第29回 マーチング&バトン オンステージ 東北大会

基本実施要項

東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟

日本マーチングバンド協会東北支部

日本バトン協会東北支部

目次

■大会概要	1
■日程概要	2
■開催部門参加数	2
■ステージ図	2
■会場経路図	3
■実施規定	4
■審査規定	9
■インフォメーション	1 1
■緊急対策	1 2
■入場券の販売について	1 3

大会概要

大会名称 第29回マーチング&バトン オンステージ 東北大会

開催日時 2026年 2月 1日(日) 13:00~17:00

開催会場 仙台サンプラザホール

宮城県仙台市宮城野区榴岡5-11-1

交通案内; ・JR仙台駅から徒歩10分

・JR榴ヶ岡駅(仙石線)前

※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

主催 東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟
日本マーチングバンド協会東北支部
日本バトン協会東北支部

後援(予定) 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会
青森県教育委員会 岩手県教育委員会 秋田県教育委員会
山形県教育委員会 福島県教育委員会
青森県高等学校文化連盟 岩手県高等学校文化連盟
宮城県高等学校文化連盟 秋田県高等学校文化連盟
山形県高等学校文化連盟 福島県高等学校文化連盟
東北吹奏楽連盟 東北小学校管楽器教育研究会
河北新報社 NHK仙台放送局 t b c 東北放送
仙台放送 ミヤギテレビ k h b 東日本放送

協賛(予定) 株式会社ヤマハミュージックジャパン 株式会社JTB

主旨 本連盟の目的は、マーチングバンド並びにバトントワーリングの普及発展及び資質の向上をはかることによって、東北の音楽文化創造の一翼を担うことである。また、その活動を通して豊かな情操と音楽的感性を育み、青少年の心身の健全な発達を促し、地域の音楽教育や生涯学習・生涯スポーツの質的向上に寄与することである。
本大会は、それらの精神のもと、東北各県より優れた団体が一堂に集い、感動の演技演奏を披露し合う中で、活動の一層の充実向上と各団体相互の交流を図り、ひいては、地域社会の活性化と音楽文化の向上に資することを目的としている。

—— 東北のめざすマーチング&バトン「より楽しく、より音楽性豊かに」 ——

- 1 豊かな心を育てる活動をめざします。
- 2 美しいサウンド、音楽的な表現をめざします。
- 3 動きの基本を押さえ、豊かな表現力を身につけることをめざします。
- 4 音楽と動きの調和がとれた作品づくりをめざします。
- 5 学校や地域社会に生きる活動をめざします。

日程概要

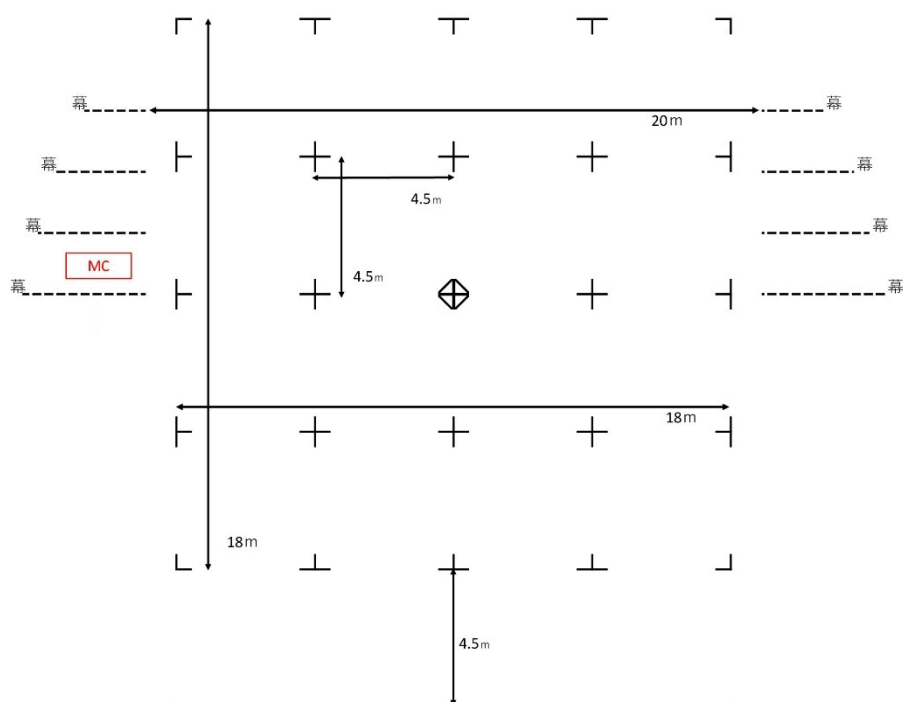
2026年 2月 1日 (日)

9:00	12:30	13:00	17:00
	大会準備	開場 開演	終演

開催部門参加数

○ 全部門で25団体程度

ステージ図



※ステージに上記図（太線）のポイントを示します。手前のポイントから4.5mに白線を引きます。

18m四方からはみ出での演技・演奏は可能です。

※ポイントの幅は5cm、間隔は4.5mです。左右に幕があります。

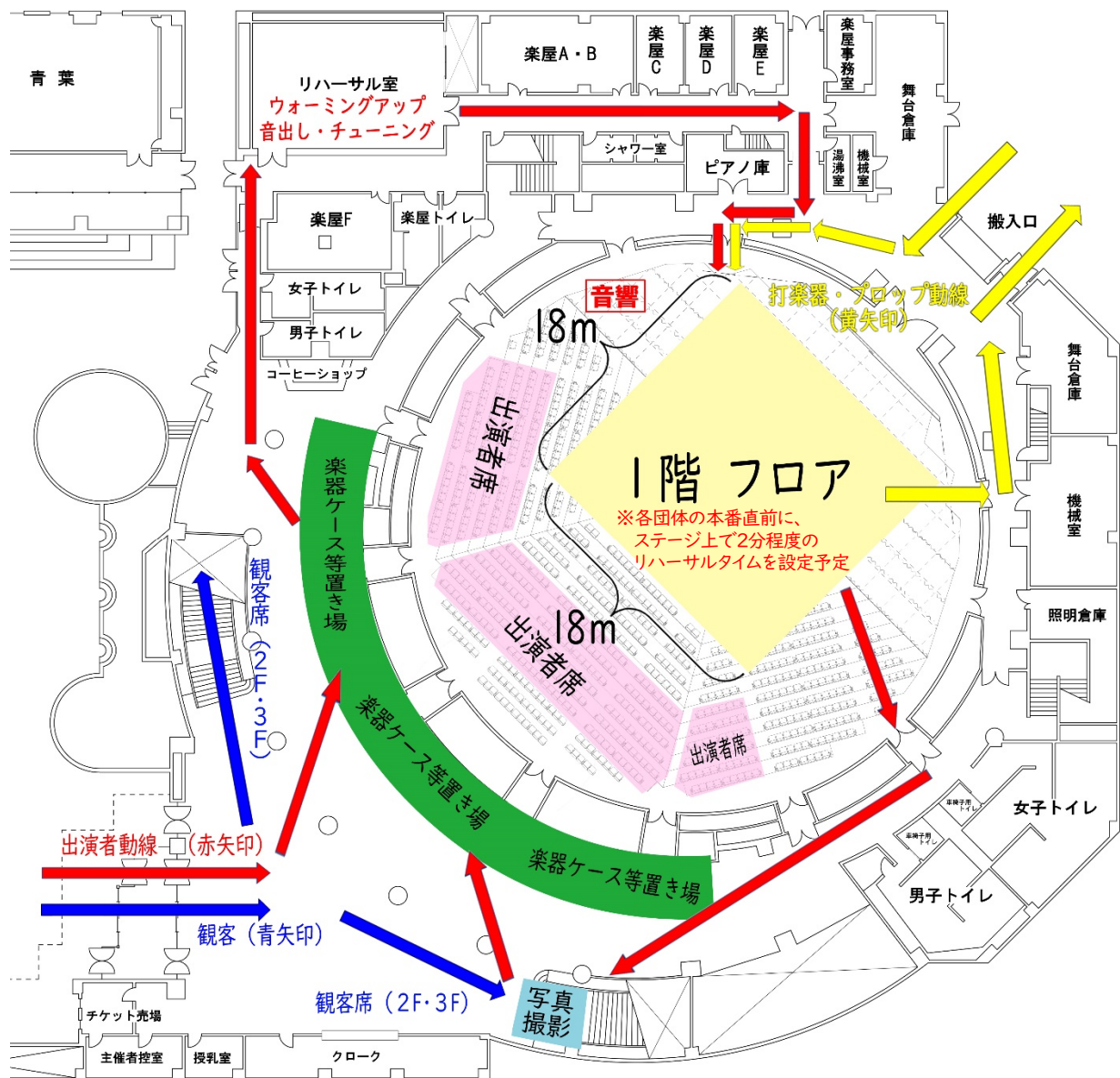
※指揮台はありません。

【バトントスについて】

照明等の器具があるため、バトントスの高さは8m以下に設定してください。

なお、ステージ後方上部に大会名の看板が設置されますのでご注意ください。

会場経路図



【各出入口の大きさ】

- ステージ入・退場口ドア・・・・・・・・・・ 高さ2m、幅1.5m
- 出演経路（リハーサル室に向かう）通路・・・・ 幅1.3m

※1階客席は、後方に出演者席のみを残して格納し、フラットな床面となります。

特にドラム等の“台”のサイズにご注意ください。通路の幅は1.3mですが直線ではありません。長さによってはスムーズな通行ができなくなる場合があります。

実施規定

1. 参加資格

(1) 参加資格は、次のいずれかとする。

①加盟団体参加資格

日本マーチングバンド協会、または日本バトン協会に加盟しており、各県組織より参加資格を与えられた団体であること。

②未加盟団体参加資格 ※オープンエントリーのみに参加可

マーチングバンド・バトントワーリング・吹奏楽・金管バンド等の演奏演技活動を行っており、東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟より参加資格を与えられた団体であること。

③特別出演参加資格

東北マーチングバンド・バトントワーリング連盟より出演依頼された団体または個人であること。

(2) 参加団体は、期限まで所定の参加手続きをする。

①構成メンバー人数の登録(当日の構成メンバーは登録人数以内)

※構成メンバーとは、ステージ上に入るすべてのメンバー（教師等の指揮者も含む）とする。

②団体参加費として、オープンエントリーは 3,000 円、フェスティバル及びコンテストは 10,000 円の納入（ともに著作権使用料を含む。合同は 2 団体目から 3,000 円ずつ追加）

③構成メンバー登録会費として、構成メンバー 1 名につき 1,000 円の納入（プログラム、記念バッジ、出演者席料、傷害保険料を含む）

※ただし、(1)③については、団体参加費・構成メンバー登録会費を徴収しない。

④その他、指定した書式の提出

(3) 加盟団体及び構成メンバーの東北大会への参加は 1 回とする。

ただし、教師等の指揮者及び (1) ③、並びにオープンエントリーへの参加については、この限りではない。

2. 部門及び構成と編成

オープンエントリー ※全国大会推薦対象外

(1) 部門

- ①ドリル&パフォーマンス部門
 - ・ステージでドリルやパフォーマンスを行う吹奏楽・金管バンド等
- ②カラーガード部門
- ③バトントワーリング部門
- ④ポンポン・ペップアーツ部門

(2) 構成 年齢による区分はなし

(3) 編成 人数編成、楽器編成ともに自由

- ※ピアノ、オルガン、ハーブシコード、チェレスタ等の重量のある鍵盤楽器は使用不可とする。
- ※施設の電源を使用する楽器・機器については、事前の申し込み（特殊効果の様式）により可とする。

フェスティバル ※全国大会推薦対象

(1) 部門

- ①ドリル&パフォーマンス部門
 - ・ステージでドリルやパフォーマンスを行う吹奏楽・金管バンド等

(2) 構成

★小学生の部★

- ① 単一・複数団体を問わず小学生による構成とする。
- ② 指揮者については、2名まで自由資格とする。ただし、小学生以外の指揮者は指揮を行えるが演奏演技をしてはならない。（入退場時の楽器・器物の搬入及び搬出は可）

★中学生の部★

- ① 単一・複数団体を問わず中学生または小学生を含む構成とする。
- ② 指揮者については、2名まで自由資格とする。ただし、小学生以外の指揮者は指揮を行えるが演奏演技をしてはならない。（入退場時の楽器・器物の搬入及び搬出は可）

★高等学校・一般の部★

- ① 単一・複数団体による構成とする。ただし、未就学児は除く。

(3) 編成

- ①人数編成は自由とする。
- ②楽器編成は自由とする。
 - ※カラーガードのみの編成は不可とする。
 - ※ピアノ、オルガン、ハーブシコード、チェレスタ等の重量のある鍵盤楽器は使用不可とする。
 - ※電源を使用する楽器・器物の使用は可とする。その場合、事前申請（特殊効果の様式）のあった団体に限り施設電源の使用を許可する。

コンテスト

(1) 部門

① ドリル&パフォーマンス部門

- ・ ステージでドリルやパフォーマンスを行う吹奏楽・金管バンド等

(2) 構成

★小学生の部★

- ① 単一加盟団体の小学生構成
- ② 複数加盟団体の合同小学生構成
- ③ 指揮者については、2名まで自由資格とする。ただし、小学生以外の指揮者は指揮を行えるが演奏演技をしてはならない。（入退場時の楽器・器物の搬入及び搬出は可）

★中学生の部★

- ① 単一加盟団体の中学生構成
- ② 複数加盟団体の合同中学生構成
- ③ 単一加盟団体の小・中学生構成
- ④ 複数加盟団体の合同小・中学生構成
- ⑤ 指揮者については、2名まで自由資格とする。ただし、小中学生以外の指揮者は指揮を行えるが演奏演技をしてはならない。（入退場時の楽器・器物の搬入及び搬出は可）

★高等学校★

- ① 単一加盟団体の高等学校団体
- ② 同一学校法人内の高等学校及び中学校による合同構成
- ③ 複数の公立高等学校による合同構成（公立高等学校の統廃合に伴う移行期間中）
※上記のような特殊事情がある場合に限り、合同による出場を認める
- ④ 指揮者については、2名まで自由資格とする。ただし、生徒以外の指揮者は指揮を行えるが演奏演技はしてはならない。（入退場時の楽器・器物の搬入及び搬出は可）

★一般の部★

- ① 単一加盟団体による構成。ただし、未就学児は除く。

(3) 編成

- ① 人数編成は、4名以上66名以内とする。

※全国大会に推薦された団体は、以下の編成に振り分けられる。

- ・ 小編成＝指揮者を含めて 4名以上34名以内
- ・ 大編成＝指揮者を含めて35名以上66名以内

- ② 楽器編成は、自由とする。

※カラーガードのみの編成は不可とする。

※ピアノ、オルガン、ハープシコード、チェレスタ等の重量のある鍵盤楽器は使用不可とする。その他類似するものがある場合は、実行委員会に問い合わせること。

※施設電源の使用は、ビブラフォンに限り許可する。ビブラフォン以外の楽器・機器については、電源（施設電源・バッテリーを問わず）を使用することは認めない。

ただし、小学生の部・中学生の部に限り、電源を使用する楽器（エレキベース、バスキーボードなど）の使用を認める。その場合、事前申請（特殊効果の様式）のあった団体に限り施設電源の使用を許可する。（自動演奏は認めない。）

3. 演奏演技

(1) 演技ステージ

演技ステージは、前記2ページのステージ図のとおりとする。

(2) 入退場

- ①構成メンバーは、係の指示に従い、入場口で待機する。
- ②構成メンバーは、係の指示に従い、暗転時に速やかに入場する。
- ③演技終了後は、指定された退場口を使用し、速やかに退場する。

(3) 演奏演技時間

※演奏演技時間とは、演奏演技の開始から終了までとする。

- ①ドリル&パフォーマンス部門は6分以内とする。
- ②カラーガード部門は、ジュニア(中学生以下)が4分30秒以内、高等学校・一般が5分30秒以内とする。
- ③バトントワーリング部門、ポンポン・ペップアーツ部門は4分以内とする。

(4) 照明

- ①演技前後は暗転とし、演技中は明転とする。
- ②団体の申し入れにより、演技中のカラー照明を使用することができる。

4. 手具・器物・特殊効果関連

「手具」とは…

演奏演技者個人が容易に携帯でき、自らが用いる小道具類を手具とする。

「器物」とは…

楽器・バトン・手具類・ユニフォーム類のどれにも属さず、演奏演技者以外の物を総称して器物とする。なお、楽器や楽器運搬台に装飾を施した場合は器物とみなす。

「特殊効果」とは…

フラッシュ・ストロボ・各種ライト類(ケミカル類含)等の光の効果を用いたもの及びサイレンを特殊効果とする。

- (1) 演技ステージに搬入する器物については、次に示す規格以内の大きさとする。

※規格：1m80cm × 1m20cm × 1m50cm以内の立体

ただし、規格内の大きさであっても、1m20cmを越える高さで演奏演技することは禁止する。

- ①器物を重ねたり密着したりして並べる場合は、その状態が規格内の大きさであること。

- ②フロアに敷く布は器物であるが制限を設けない。

- (2) 器物の大きさは、出入り口のサイズ(会場経路図参照)を考慮し、余裕をもって通過できる大きさにすること。

- (3) 指揮台は設置しない。必要な団体は各自準備し、持ち込むこと。※規格以内

- (4) 特殊効果は使用方法・数量等の詳しい説明書を事前に大会審査委員長に提出すること。

- ①化学反応で発光するケミカルライト類はその安全性がメーカーによって保証されているもののみ使用できる。

- ②火気・ガス類・液体類及び固形燃料類は使用を禁止する。

- ③乗り物(自転車、バイク、ローラースケート、スケートボード等)、ドローン等リモコンで操作されるもの、動物は不可とする。

- (5) 国旗等の使用は敬意を損なわない最大限の注意をすること。なお、フラッグ等に用いる場合は原形での使用を禁止する。

- (6) スパンコールやビーズ等衣装の付属品は、他の団体の演技の妨げとならないようにすること。

5. 登録引率者及び登録運搬補助員

- (1) 全参加団体は、構成メンバーを補助する引率者を5名まで登録することができる。
※登録費として引率者1名につき1,000円を納入。
(プログラム、記念バッジ、引率者席料、傷害保険料を含む)
- (2) 全参加団体は、出演前後の搬入・搬出のための運搬補助員を10名まで登録することができる。
※登録運搬補助員は、入場券を購入しなければ入館できません。
- (3) 上記(1)(2)の登録引率者および登録運搬補助員は、ステージでの演奏演技開始までの搬入を補助し、演技終了後はステージからの搬出補助作業を迅速に行うこと。
- (4) オープンエントリーで音源を使用する団体の登録引率者1名は、自団体と一緒に入場し、ステージ下手の音響席に移動する。
 - ①演技準備が整ったら、音響係に音源再生の合図を行うこと。
再生の合図は「スタート」の言葉のみとする。
 - ②演技終了後、音響係に音源停止の合図を行うこと。
停止の合図は「ストップ」の言葉のみとする。

6. 音源について

- (1) オープンエントリーで音源を使用する団体は、「大会参加に必要な著作権申請について」を参考に、使用する音源の許諾を取ること。
- (2) 使用曲は、CDに複製(MP3またはWAV形式)し、申込書類と一緒に郵送にて提出すること。
- (3) CDの盤面には、【団体名】を直接記入すること。
- (4) 当日は、予備として別途収録したCDを持参すること。

7. その他

- (1) 大会参加に要する経費は参加団体の負担とする。
- (2) 参加手続き期限後の変更等は、当日提出するチェックインシートにより受け付ける。なお、構成メンバーの登録変更は、登録人数以内とする。
- (3) 納入された団体参加費・構成メンバー登録会費は返却しない。
- (4) 出演順は、参加申込受け付け終了後に開催する正副会長正副理事長会において、役員による抽選で決定する。
- (5) 本規定の主旨を変更することなく、字句の加除訂正を実行委員会において行うことができる。

オープンエントリー ※全国大会推薦対象外

1. 表彰

(1) 表彰

- ①大会実行委員長よりオリジナル賞を授与する。
- ②その他に特別賞を授与することがある。

フェスティバル ※全国大会推薦対象

1. 講評

(1) 講評者

- ① 講評者は3名とし、総合的に講評を行う。

2. 表彰・推薦

(1) 表彰

- ①大会実行委員長よりオリジナル賞を授与する。
- ②その他に特別賞を授与することがある。

(2) 全国大会への推薦

- ①講評者の協議により、特色のあった団体をマーチングステージ全国大会フェスティバル部門に推薦する。
- ②全国大会推薦団体は、閉会式で発表する。

コンテスト

1. 審査・審判

(1) 審査委員長及び審査員

- ①審査委員長は1名とし、審査全般の最終確認を行うとともに、審査審判の円滑な進行を統括する。
- ②審査員は3名とし、全体的演奏・演技の調和を審査する。

(2) 審判員

- ①審判員は複数とし、1名を審判長とする。
- ②審判員は、人数・時間・器物・入退場の各内容を審判する。
- ③審判員は、違反の有無を、審判長に報告する。
- ④審判長は、結果を審査委員長に報告し、違反の最終確認は審査委員長が行う。

2. 罰 則

(1) 人数オーバー…審査対象外

(2) タイムオーバーについては、5秒以上超過した場合1点減点とし、以後5秒毎に1点減点する。

なお、事故発生によるタイムオーバーの場合は適用しない。

(3) 器物・特殊効果違反…それぞれの項目毎に得点から1点減点

(4) 注意又は警告

- ①大会実行委員会の指示に従わなかった場合
- ②他の参加団体に迷惑となる行為のあった場合
- ③非社会的な行為、大会主旨に反する行為のあった場合

上記に該当した団体は、実行委員会が警告書を発送する。

※2回連続警告を受けた団体は、次回大会に出場する資格を失うこともある。

※具体的な警告例・期限までに参加手続きを終えていない団体

- ・入場から退場までの総時間目安を超過した団体
- ・適切なゴミ処理ができなかった団体。

3. 成績・表彰・推薦

(1) 得点・成績点

- ①審査員は、上記1(1)②に基づき、100点満点（小数点以下なし）で採点する。
- ②合計点を審査員数で割った値（小数第二位まで用いる）を各団体の得点とする。
- ③上記得点から罰則に課せられた減点を差し引いたものを各団体の成績点とする。
- ④大会終了後、参加団体に得点・成績点一覧を通知する。

(2) 表彰及び全国大会への推薦

- ①成績点により、金・銀・銅のいずれかの賞を授与する。

金賞：85点以上100点以下

銀賞：70点以上85点未満

銅賞：70点未満

※全国大会推薦団体には、成績点に関わらず金賞を授与する。

- ②成績点の高い団体をマーチングステージ全国大会コンテスト部門に推薦する。
- ③全国大会推薦団体は、閉会式で発表する。

インフォメーション

□ 入場券の発売

販売金額 事務局前売り 2,500円 (プログラム代込み)
 当日販売 3,000円 (プログラム代込み)
 (税込、全席自由。未就学児は無料とするが、座席の保有は不可)

販売方法 前売券 12月5日(金)より、東北連盟事務局で郵便・FAX・メールによる受け付けを開始
 当日券 会場にて窓口開設

□ 事前広報

連盟ホームページ及び各種SNSにおいて広報

□ プログラム

配付方法 一般客には入館の際に半券と共に配付
 参加団体には構成メンバー数・登録引率者数プラス2部を配付

□ 関係者識別

構成メンバー・・・・・・・・・・記念バッジ
 登録引率者・・・・・・・・・・記念バッジ
 登録運搬補助員・・・・・・・・・・登録運搬補助員シール
 (当日団体受付にて、申請人数分の入場券と交換)
 特別出演・・・・・・・・・・記念バッジ
 特別招待者(後援、協賛、顧問等)・・・・・・・・・・特別招待者カード
 一般招待者(参加団体長、東北支部・県協会役員、賛助会員等)・・・・・・・・・・一般招待者カード
 審査員・・・・・・・・・・ネームプレート
 正副大会長・・・・・・・・・・ネームプレート
 連盟役員・・・・・・・・・・ネームプレート
 運営係員・・・・・・・・・・ネームプレート
 運営補助員・・・・・・・・・・ネームプレート
 報道関係者、指定カメラマン、業者・・・・大会本部指定の腕章

□ 記 録

写真記録(出演団体記念写真・演技風景等)、VTR記録
 ※連盟の承認のもと、指定各社が撮影を行う。
 ※一般客の写真・ビデオ等の撮影及び録音は一切禁止とする。ただし、自団体のみの撮影席を設置する。

□ 弁当の斡旋

大会協賛旅行代理店((株)JTB仙台支店)において、FAX・メールで受け付ける。

(株)JTB仙台支店

〒980-8520 仙台市青葉区一番町4-6-1
 仙台第一生命ビルディング2階
 TEL 022-263-6726/FAX 022-263-6693

※協賛社以外の業者は館内で斡旋行為はできない。

□ 記念品・その他会場販売

別途出店要項を発行の上、広告協賛社より募集する。
 公正な規準のもとに出店を管理し、大会運営に支障のないように行う。

□ 傷害保険

出演者・関係者を対象に、一括傷害保険に加入する。

緊急対策

1. 目 的

大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害等を最小限に軽減することを目的とする。

2. 予防体制

- ①各担当者は、それぞれのポジション内の整理について特に注意し、不必要な物は置かないようにする。
- ②開場 1 時間前に関係者全員で、消火器所在等の状況を確認するとともに、不審物・危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも疑わしき物があった場合には、大会本部に各部長を通じて連絡すること。
- ③大会本部にて、不審物・危険物等、疑わしきものの現状を確認後、ホール職員に連絡し、指示を受ける。
- ④開場 30 分前に再度確認する。
- ⑤大会当日の天候、気温の状況により、体調不良者の発生を防ぐために、暖房の使用を大会本部で検討、決定する。

3. 緊急事態発生の場合

①火災発生の場合

- ア. 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、大会本部に連絡する。
- イ. 大会本部はホール職員に連絡する。
ホール職員の判断のもと消防署・警察署に通報していただく。
- ウ. 消防署または警察署の指示はホール職員と連携を取りながら、大会本部が受け、各部署に連絡する。
- エ. 初期消火については、各部署の部長が会場内所定の消火器の操作要領を関係係員に確認しておく。
消防署・警察署に通報後は、自分自身の安全が確保できる範囲で初期消火活動を行う。
被害が甚大な場合は、初期消火することなく、来場者の避難誘導を最優先とする。
- オ. 来場者の避難誘導については、ホール職員の非常放送により来場者を混乱させることなく、火元の反対方向に誘導補助を行う。避難時は煙の被害を少しでも少なくするため、ハンカチ、タオル等を使用する。

②地震発生の場合

来場者に対しては、冷静に対処することを放送・ハンドマイク等で呼びかける。ホール職員及び本部の状況判断により、避難を要する場合は各出入口を使って館外への誘導を補助する。誘導にあたっては、ホール職員の指示を受ける。

③けが人・病人等発生の場合

- ア. 参加団体内部で対応ができないけが人・病人が発生した場合には、大会本部に連絡する。
本部は必要に応じて救護係員を現場に向かわせる。一般来場者の場合も同様とする。
救護係員は医療関係の知識がある者がこれにあたり、大会本部の管理下で大会本部に待機するものとする。
- イ. 救護所は、会場内主催者控え室に設置する。軽傷のけが等の対処のために、大会本部内に救急箱を準備する。
- ウ. 感染症予防のため、リハーサル及び本番を除き、会場内ではマスクの着用を義務付ける。
- エ. 必要がある場合は、大会本部がホール職員に救急車の出動を要請する。

4. その他

大会実行委員会は、緊急対策の詳細を記載した緊急対策マニュアルを作成し、関係者に周知徹底する。

入場券の販売について

□下記の方法で入場券を販売する。

【団体ごとに集計の上、巻末の入場券申込書を使用してお申し込みください。】

郵送の場合

申込用紙＋返信用封筒

※返信用封筒＝定形封筒に返信先の住所
氏名を記入し、110円切手を貼る

↓
大会事務局へ郵送

〒014-0027
秋田県大仙市大曲通町13-7
三浦ビル1F
東北M&B連盟 宛

受付 12月 5日（金）から
1月16日（金）まで

↓
調整結果枚数と請求書を郵便で返信

↓
大会事務局へ現金書留で代金を送金
送金締切 1月20日（火）

↓
現金書留を受領次第、大会事務局より
入場券を発送

FAX or メールの場合

申込用紙

↓
FAX → 申込用紙
メール → 様式自由

連盟専用FAX
0187-86-0561
連盟メールアドレス
mbtohoku@gmail.com

受付 12月 5日（金）から
1月16日（金）まで

↓
調整結果枚数と請求書を返信

↓
指定口座に代金振込
送金締切1月20日（火）
振込用紙の写しを大会事務局へ送信

↓
振込を確認次第、大会事務局より
入場券を発送

発券した入場券の払い戻しは行いません。

入場券申込用紙

※太線内のみご記入の上、お申し込みください。

団 体 名		受付NO	
送付先住所	〒	電話番号	
連絡責任者		FAX 番号	
E-mail			

申込内容

2 月 1 日 (日)

種 類	単価 (円)	希望枚数	金 額	調整枚数	金 額
入場券	2, 5 0 0	枚	円	枚	円

送料 1, 0 0 0 円

合 計	円	合 計	円
-----	---	-----	---

※申込方法は、前頁をご覧ください。

※お問い合わせは メールまたは FAX をお願いいたします